

◆ がん患者・経験者への就労支援

「がんと向き合い、希望を持って暮らせる地域社会をつくる」

平成25年3月、奈良県がん対策推進計画において、「がんと向き合い、希望を持って暮らせる地域社会をつくる」を目標に、分野別施策において、「がん患者の就労を含めた社会的な問題」に関し、対策を講じることとしている。

働く世代のがん患者数は、年々増加しており、がん患者の治療と就労の両立は大きな課題となっている。

1. がん患者・経験者とその家族の就労に関するニーズ・課題【ならのがんに関する患者意識調査】と【職場環境調査】(平成25年奈良県実施)

**がん患者・経験者
とその家族**



- ・がんや治療に伴う身体的・心理的・社会経済的な問題
- ・相談先がわからない
- ・病状等の説明力が十分ではない
- ・職場に病状を伝えにくい

医療機関



- ・がん患者等の就労ニーズの把握が十分ではない
- ・就労継続を意識した説明、声かけ(「今すぐに仕事をやめる必要はない」と伝える)が十分ではない
- ・就労支援に関する知識、技量、情報が十分ではない

企業



- ・手厚い対応が難しい
- ・相談体制、情報が十分ではない
- ・病状の把握が難しい
- ・主治医と産業保健スタッフ(産業医・保健師等)との連携が充分ではない
- ・経済的な負担がある

2. ニーズや課題に対する解決法等

＜がん患者・経験者とその家族＞

- ・自身の病状を理解し、自分ができることや配慮してほしいことを明確に伝える
- ・がん患者さんのための療養ガイド、がんポータルサイト等での情報収集

＜医療機関＞

- ・就労継続を意識した治療方針の説明の強化
- ・就労に関する知識を有する専門家(社会保険労務士等)と連携した相談対応
- ・医療従事者や相談員の研修の実施(9/23)

＜企業＞

- ・がん患者との認識の共有
- ・がん患者と主治医と産業保健スタッフ(産業医・保健師等)が連携した病状、配慮事項の共有
- ・地域窓口(地域産業保健センター)と連携した相談支援、人材育成の体制整備
- ・従業員に対する研修の実施

3. 平成26年度 奈良県の取組

＜がん患者・経験者とその家族＞

- ・就労に関する普及啓発・情報提供
- ・がん患者さんのための療養ガイドの配布
- ・「がんネットなら」での情報提供

＜医療機関＞

- ・がん相談支援センターでの就労に関する相談の充実
相談支援体制の整備
(社会保険労務士への研修・出張相談・交流会)

＜企業＞

- ・産業保健研修会(2/10)・産業医学研修会(1/28)
- ・県内事業所への情報提供
(「なら労働時報」でがん患者と就労について発信)
- ・奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業の表彰・登録

＜関係機関の連携＞

- ・産業医、産業保健スタッフ(企業)とがん相談支援センター相談員(医療機関)との連携強化
- ・県民、奈良労働局、ハローワーク、社労士、相談員等との関係者連携会議の開催

